

令和7年度

新潟県環境審議会 資源循環部会議事録

開催日時： 令和8年2月4日（水）  
午前10時から11時00分まで

開催場所： 新潟県自治会館別館 3階 第1研修室

出席者： 委員 6名  
大野めぐみ委員、紅露一寛委員、幡本将史委員、  
房文慧委員、松原征司委員、宮森征司委員  
特別委員 2名  
関口芳史委員（代理出席 加藤 博幸）、  
品田宏夫委員

議事録確認委員

大野 めぐみ

---

幡本 将史

---

事項・発言者	発言内容
【開会】事務局	(開会)
【挨拶】 南副局長	(省略)
【出席状況報告】事務局	委員 10 名中、出席委員は 8 名であり、新潟県環境審議会条例第 8 条第 7 項で準用する第 6 条第 2 項で規定する会議成立要件を満たしていることを報告。
【資料の確認】事務局	(省略)
進行 事務局	議事進行の受け渡し。
【議事録確認委員指名】 紅露部会長	大野委員及び幡本委員を指名。
【議事】 紅露部会長	【議事 新潟県資源循環型社会推進計画（案）について】 議事について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料 1～4、参考資料 1 により説明)
紅露部会長	<p>市町村意見に対する県の対応として、私自身が感じるのところとして、住民のみなさんがどう思うかというところで、不法投棄が少なくなったと感じる人の割合を増加させるというのが、具体的な数値目標に比べるとぼんやりしているというご指摘はその通りではあるとは思いますが。ただ、一方で、不法投棄が少なくなったと感じる人の割合が、人間の感覚として意味のある形で増えていくというのは、達成すべきハードルとしては高いかなという気もしております。そのような点も踏まえて、また、不法投棄の新規発見件数も非常に低いレベルで推移しているということもあわせて、県の説明について納得しております。</p> <p>リチウムイオン電池の処分に対するご意見につきましては、ニュース等でごみや廃棄物処理施設での火災事故等の発生によって、処理施設や機材の損傷等が徐々に社会問題になりつつあるという背景については理解しておるところです。県としましても、広く周知をすると回答いただいておりますので、このような形でよいと思っております。</p>

事項・発言者	発言内容
加藤特別委員代理	<p>阿賀野市長の加藤でございます。今回の計画だけではないんですが、日頃からごみの排出をできるだけ市民、県民、町民の皆さんも抑制していこうという取組については、どこの行政も取り組んでいることですが、普通に暮らして常々感じているのが、食品ロスでございます。計画には、県民の方々が1人1日当たり排出するごみの量が出ておりますが、事業系の中に入るのかもしれないが、食品スーパーから排出される量が見えないといつも感じてます。</p> <p>特に値引き処理したもので残っているものはどうなってるのかと、阿賀野市の市民の方からも質問があります。普段から素朴に疑問に感じておられる市民の方がいるということに対して、どのように把握されていて、どんな施策の方向に持っていくのか。牛乳だと「てまえどり」ということでやっておりますけれども、惣菜やお弁当とか、食品ロスとしてかなりの量が出ていますので、どのようにしていくのか、考え方を教えていただければありがたいです。</p>
事務局	<p>ご指摘の通り、この改定計画の中でも計画目標ということで、1人1日当たりの焼却処理量を減らす、可燃ごみを減らすということを掲げております。そこに大きく寄与してくるのが食品ロスであり、可燃ごみとなって処理されてしまえば目標達成が難しいと考えております。</p> <p>今回、本計画の見直しと合わせまして、新潟県食品ロス削減推進計画についても年度内の見直しの検討を進めております。具体的には、県の令和5年度の食品ロスの量が6.7万tということで、現行計画の目標値を前倒しで達成している状況でございます。国が令和7年3月に食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針を変更し、新たな目標値が設定されたということで、県といたしましても、国の目標に沿った形で新たな削減目標を定めさせていただきました。また、食品ロスの問題を認知して複数の取組を実践する県民の割合も目標に掲げながら、取組を進めていくこととしております。</p> <p>食品ロスは、家庭から出てくるもの、事業系のものがあり、県民の皆様が取組とともに、事業者の取組も大事になってきますので、普及啓発、それから食品関連事業者の取り組みに関すること、情報の収集、提供も合わせて計画の中に盛り込み、関係部局、関係事業者の皆様と連携して、市町村のお力も借りて取組を進めていきたいと思っておりますので、引き続き、よろしくお願いいたします。</p>

事項・発言者	発言内容
紅露部会長	<p>今の質問につきましては、資源循環型社会推進計画の48ページの中にも項があり、事務局から別の計画改定と県の今後の施策について回答いただいておりますので、本計画の文言を修正するかどうかは、事務局とも協議し、必要であれば、部会長の私に内容の方は一任いただくということで了解いただければと思います。</p> <p>大事な話であるので、問題の解決に向けて、様々な面から取組を進めていただきたいというふうに思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
加藤特別委員代理	<p>計画の57ページに最終処分場の整備ということが記載されております。エコパークの容量の問題を踏まえ、上越の方が先行して実施しておりますが、上下越での取組が記載されております。最終処分される廃棄物に対しては、それぞれの市町村がそれぞれの地域で責任持って処分すると捉えている人もいます。それができない場合は、地域の市町村で連携して広域処理、実際は県内、市町村内などの範囲内でなく広域で処理すると、捉えている人もいます。各市町村においては、施設の更新には多大な費用がかかる一方、県外においては、民間の施設含め、最終処分されるごみを受入れしていただける場所もございます。そのような中、上越地区、下越地区で施設整備を進めていくとなった時に、例えば、上中下越で三つの施設を並列的に稼働し、県外の処分場も含めて、県内で発生する廃棄物は処理していくのか、将来的には県外には出さず、県内の中で処理していくのか、大枠の方向性について、確認させていただきたいと思ひます。</p>
事務局	<p>計画案の57ページ、公共関与による廃棄物広域最終処分場の整備としまして、県が公共関与という形で、整備促進をしているエコパークいずれもごきは現在第3期となっているところでございます。こちらは主に産業廃棄物の最終処分場ですが、一部、能登半島地震の災害廃棄物等の受入をしているところでございます。</p> <p>あくまでも産業廃棄物は、事業者、排出事業者の責任で、自ら適正に処理することが原則となっておりますが、県内で新たな民間の処分場の整備が進まないということで、民間の処分場を補完する公共関与の処分場の整備を進めております。現状の産業廃棄物の搬入量は、過去に比べるとリサイクルも進み、排出抑制も進んでいるということで、以前よりも少なくなっているところでございます。</p> <p>そういった中で、上越で取組を進めている処分場も数十年規模</p>

事項・発言者	発言内容
加藤特別委員代理	<p>の容量となっておりますので、上中下越で並行して進めていくということは現時点で考えておりません。どのような形で産業廃棄物以外の一般廃棄物、災害廃棄物を含めて受け入れていくのか、事業団と考えていきたいと思えます。</p> <p>県では、産業廃棄物に係る条例がありまして、過去、他県ではありますが、県外産業廃棄物による不適正処理事案もございまして、条例におきましては、県内産業廃棄物を県内で処理するよう謳わせていただいております。また、一般廃棄物に関しては、市町村に統括的処理責任がある中で処理を進めていただいております。県が進める公共関与の最終処分場は主に産業廃棄物民間最終処分場の補完的な役割、災害が起こった際の廃棄物等の受け皿といった形で取組を進めております。</p> <p>個別な案件になるのかもしれませんが、各市町村の広域的にごみ処理をしているところは、その地域で最終処分場がある場合も、そうでない場合もあります。市町村で発生した最終処分すべき廃棄物を県外に持っていくところもありますが、ごみ焼却施設の建替えて、かなり費用がかかるという中で、新たに最終処分場を設置する、15年、20年、30年も経てばまた設置となると、実際には非常に難しい状況にあります。例えば、広域的にごみを焼却している市町村の最終処分される廃棄物をエコパークや上越、下越に搬入してもいい考えでいるのかどうかが大変なところでございます。山間の地域など物理的に作りたくても作れない地域もあると思うので、その点も考慮していただければということでお聞きしました。</p>
紅露部会長	<p>個別の話は、この場で詳細な議論をすることは難しいと思っておりますが、今のご質問等を踏まえた上で、57ページの記載は諸般の事情も含めて、県として計画を策定し、様々な施策を進めていきたいということで理解しているところでございます。</p> <p>ご質問、ご意見を受けた点につきまして、計画の文言の修正が必要かどうかも含めまして、事務局とも協議し、最終的に修正を必要とする場合には、文言の確認等は、部会長の私に一任いただくということで、了解いただきたいと思っております。</p> <p>今回の案を適宜必要な修正があれば確認するというので、了解いただきたいと思っております。</p> <p>(異議なし)</p>

